



# 議 会

によどがわ

# だより

2008.5  
第11号

## 3月定例会

議長に若藤敏久氏…2P

アサヒビールが

「仁淀川の緑と清流を再生する会」に助成金…3P・5P  
町有林を全伐せよ…8P

福祉タクシー

ガソリン代を出せないか…10P・14P

夜スぺを導入しては…12P



五葉はめでたい  
若松様よ～

とわ  
永久の愛を誓いました

中越家のしだれ桜の下で、人前結婚式が行われた。  
新郎新婦は元木智之・むつみさん（高知市）



高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 若藤敏久 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

# 議長に若藤敏久氏

## 議会だより編集委は全員再選！



藤崎町長の集大成となる最後の大切な期間を、このような指名推薦で議長に選出されるなど、考えてもみなかったことでもあります。

今後は、ご指名をいただきました皆様のお顔を汚さぬよう、議長として厳正中立、藤原・橋本議長が築き上げてこられた、町民の目線に立った議論が展開できる議会を継続していきたいと考えております。  
議員の皆様のご支援、ご指導をたまわりますようお願いいたします。

(議場でのあいさつ)

橋本眞一議長から議長  
辞職願いが提出され、指  
名推薦により、若藤敏久  
議長に決定した。

その後、西森常晴副議  
長から、辞職願いが提出  
され、指名推薦により再  
選された。

また、各常任・特別委  
員会委員は以下のとおり

**総務教育民生常任委員会**  
委員長 農本 規仁  
副委員長 野村 安夫  
委員 藤原 陽三  
委員 橋本 眞一  
委員 福原 克彦  
委員 西森 常晴

**産業建設常任委員会**  
委員長 岡田 良成  
副委員長 片岡 政徳  
委員 大原 儀郎  
委員 坂本 伝一  
委員 西森 久雄  
委員 若藤 敏久

**議会運営委員会**  
委員長 藤原 陽三  
副委員長 西森 久雄  
委員 岡田 良成  
委員 大原 儀郎  
委員 橋本 眞一  
委員 農本 規仁

**議会だより特別委員会**  
委員長 西森 常晴  
副委員長 農本 規仁  
委員 野村 安夫  
委員 片岡 政徳  
委員 福原 克彦

以上のように議会組織  
を変更し、町の発展のた  
め活動していくことを確  
認し閉会した。

# 合併の支援措置が終了

算特  
の併  
税合  
交付と  
普通特  
定例債  
を除く

— やりくりが大変です —

諸般の報告 町長 藤崎富士登

**後期高齢者医療  
制度の運営は  
医療広域連合が  
町は申請の受付と  
保険料の徴収を**

後期高齢者医療制度の運営は、県下の三四市町村が加入する後期高齢者医療広域連合が被保険者の資格管理や保険料の決定賦課と保険の給付を行い、町は各種申請の受付と保険料の徴収を行う。

本年四月から国保、健保組合の医療保険者は、四〇歳から七四歳の被保険者や扶養者を対象に、内臓脂肪型肥満や生活習慣病に対する特定健診、特定保健指導が始まる。

今まで四〇歳以上の全町民を対象に行ってきた総合健診から、ガン検診を除いた血液検査や尿検査などの基本健診が特定健診と名称が変わり、実施主体も町から国保等の医療保険に変わる。

町は国保加入者に引き続き健診義務を負うが、

健康保険加入者や、後期高齢者医療保険加入者は、それぞれの医療保険者が健診義務を負う。

**池川幼稚園が  
休園に**

池川幼稚園は昭和五四年四月に開園し、十九年度までに八〇七人が幼稚園教育を受けてきたが、二十年度から休園。

休園で池川保育園の園児数が増え、増員認可の手続中。また負担が増加するので上乗せ委託料六〇〇万円及び四月より障害児保育の加配保育士に必要な基準額一五七万円を計上し、児童福祉の充実に努めたい。

**ふたば保育所  
新築移転に  
一億一九〇〇万円**

ふたば保育所は老朽化が激しく、駐車場がなく、旧建設省大渡ダム独身寮跡地に、定員四五人で新築移転を計画し、一億一九〇〇万円を計上。

**バイオマスで  
地域通貨券を発行**

平成十七年度より取り組んでいる、バイオマスエネルギー実験事業は、高い評価を受け、継続し

て実験事業が行われる。二十年度の経費として約一億六〇〇万円を計上している。関連して地域通貨券の発行を行い、林地残財のスムーズな収集と町内商店街の活性化に取り組み。

ソニアは、基本計画の見直しを行い、現在の販路と、市場動向を勘案し、改善計画の作成や体制づくりに取り組んでいる。

**ひょうたん桜の  
治療が終了**

昨年度から治療していた、ひょうたん桜も一月中旬に終了した。

**アサヒビールが  
「仁淀川の緑と清流を再生する会」  
に助成金**

アサヒビールは、売り上げの一部を環境保全活動に従事している団体に地域貢献活動促進事業として、本町の「仁淀川の緑と清流を再生する会」を選定し、三月初め尾崎知事の立会で協定書を締結した。



1月に治療が終了したひょうたん桜  
今年は約8,000人の観桜客で賑わった(桜)

# 一般質問

## 三月定例会の報告口です



### 道路特定財源

### 町民の要望は道がトップ

答

### 一般財源化反対と 暫定税率維持を

問

藤原陽三

道路特定財源を廃止すれば、地方財政を直撃し、道路整備だけでなく福祉や教育など行政サービスへの影響が計り知れない。

道路特定財源を一般財源化に同意する者も少ないが、町民の要望は道がトップで、住民生活に欠かせない。

連続二五〇ミリの雨で通行止めになり住民生活が脅かされる国道があることを知っているか。

地元自治体の長として関連する者の合意を取り、道の整備がすべての活性化につながる基本であることを強く訴えるべきだ。

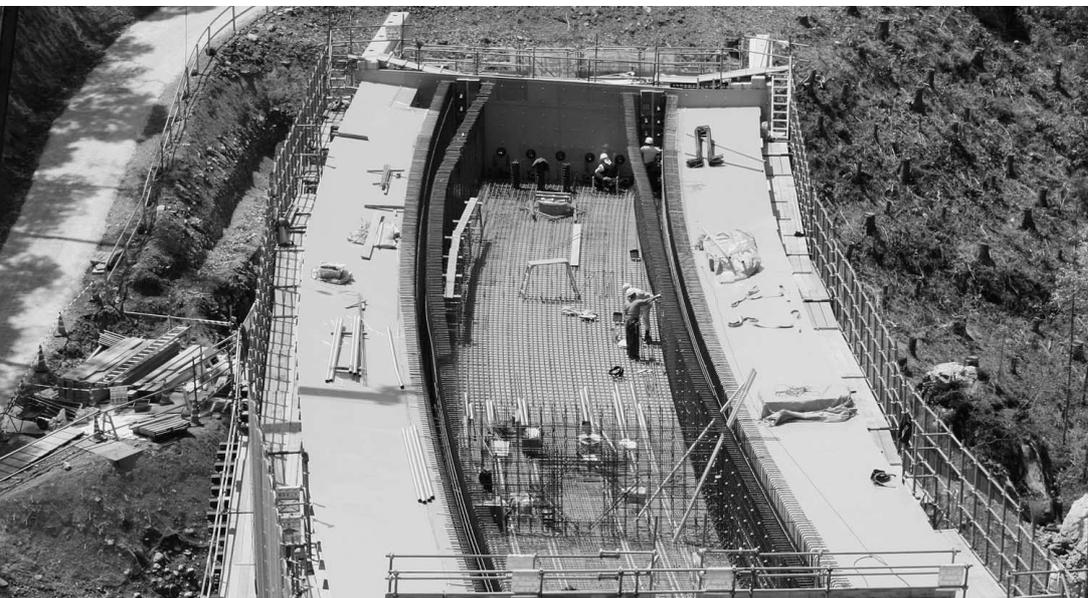
答

町長

道路特定財源は大切だ。高齢者比率の高い本町のような山間地域は多くの問題を抱えている。早急な整備が産業、経済、福祉、観光、文化交流面から欠かせない。

重要な「命の道」であり幹線道路の早期整備が急がれ、基盤整備を進めるには、安定した財源の確保が必要である。

財源が廃止されれば国の事業費や補助金が半減し、町の運営に深刻かつ多大な影響を及ぼす。一般財源化反対と暫定税率の維持を強く国に要望し、関連法案を年度内に成立させる必要がある。



国の事業費が減額すれば、工事の完了が遅れる。国道439号（織合）

# 水源の里協議会への取り組みは

## 答 積極的に参加する

問 藤原

全国水源の里連絡協議会が全国の企業や個人から寄付を募り基金を創設すると発表。中山間地で過疎高齢化が進み存続が危ぶまれる限界集落の再生を目指す本町を含む一

五一市町村で構成、中山間地の集落が持つ役割を知ってもらうために、基金は当面五〇〇万円を目標として各事業を行うということだ。

またアサヒビールが四国の環境保全支援で「仁淀川の緑と清流を再生する会」がこの企画の対象

として選ばれた。企業と環境の結びつきが益々重要になる今後、連絡協議会への取り組みは。

答 町長

「水源の里基金」は水源の里振興に支援の企業、団体及び個人の寄付

議長一ロメモ!

「冷水病」という言葉を近年にわかに耳にする。口びるがただれ、体に火傷のような傷ができる鮎の病気である。

「冷水病」という病名から、低水温の河川で発生すると思われがちだが、水温

が急激に変化するとき発生するというのが定説のようだ。

つまり、常温なら発生しないが、昨年のように雨が少なく日照りが続き、水温が上昇しているときに台風で増水すると、一気に水温

が低下し冷水病が発生すると思われる。

夏場の楽しみの少ない仁淀川町民にとって、鮎は唯一の友達である。

稚鮎を出荷している県内水面漁連はもう少し責任を持つて元気な鮎を育てほしいと思う。

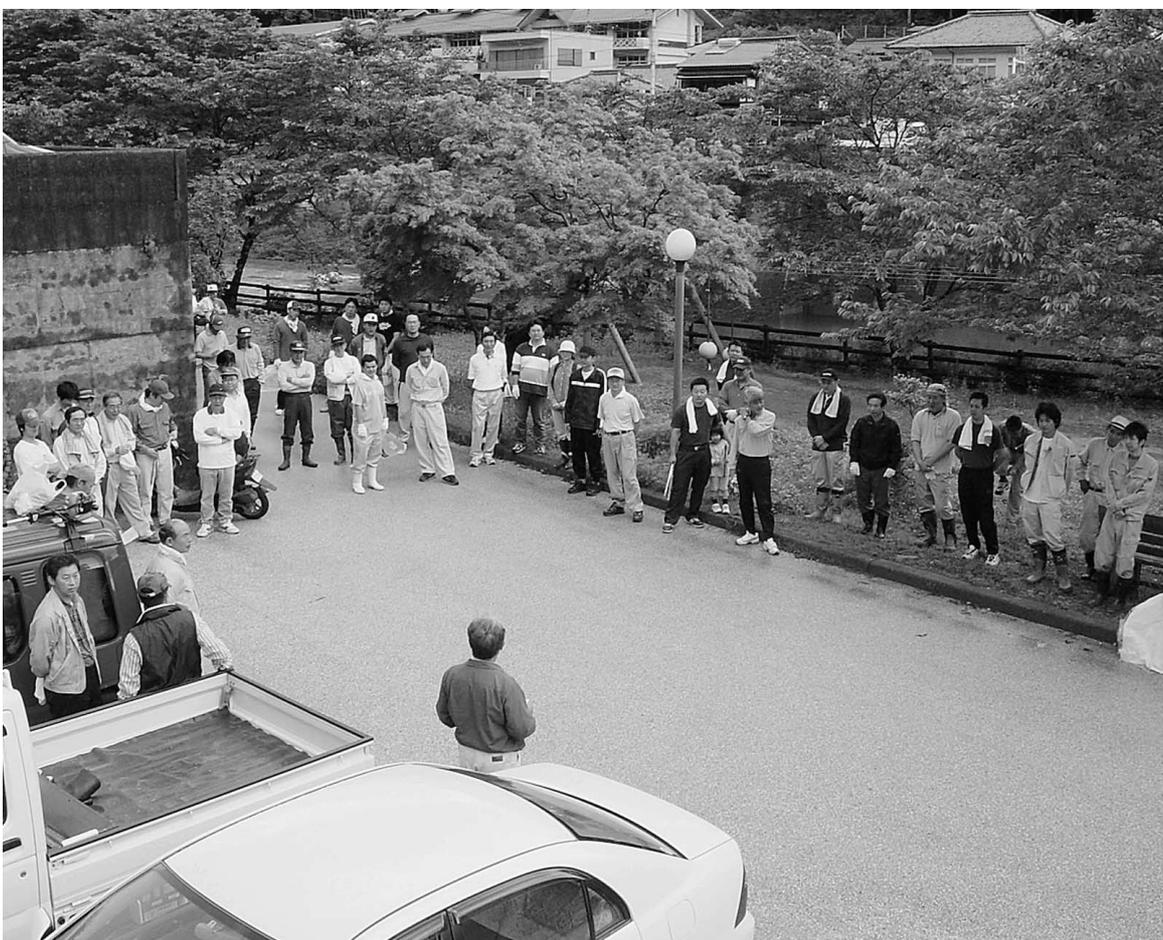
参考までに冷水病の鮎を食しても人体には何ら影響はないとのことであり

若藤 敏久

金を積み立て、協議会情報誌の発行や会員が実施するイベントなどの財源に充てる。

今後、協議会の活動は非常に重要になると確信し、過疎対策の検討委員として、積極的に参加し、

水源の里の振興に努める。



「仁淀川の緑と清流を再生する会」は毎年5月、「仁淀川クリーン」事業を行う（ふれあい公園・土居）